



日本骨髄バンクの現状（平成 29 年 11 月末現在）

	10 月	11 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,714	3,452	481,699	720,366
患者登録者数	224	236	3,757	52,501
移植例数	105	96	—	21,403

■11 月年代別ドナー登録者数（現在数）

10 代	4,200 人
20 代	71,823 人
30 代	138,682 人
40 代	206,285 人
50 代	60,709 人

■11 月の 20 歳未満の登録者 409 人

■11 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／1,057 人、献血併行型集団登録会／2,266 人、集団登録会／67 人、その他／62 人

■11 月末までの末梢血幹細胞移植 (PBSCT) 累計数：409 件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 骨髄バンク公式 Twitter（ツイッター）はじめました

「日本骨髄バンク NEWS 第 51 号」（12 月 6 日発行）で準備中とお知らせしましたが、Facebook や YouTube に続き、12 月 11 日より公式 Twitter を開設しました。内容は当法人ホームページをご覧ください。若い世代の方を中心に骨髄バンクを身近に感じてもらうため、大切な情報からゆるりとした話題までツイート（投稿）していきます。ぜひフォローしてください。



アカウント名：（公財）日本骨髄バンク

ユーザー名：@JMDP1789

2 ドナー助成制度の導入自治体

「骨髄バンクを介して骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が新たに下記の自治体でスタートしました。これまでに導入した市区町村は全国で 319 になります。助成内容は各自治体によって異なりますので直接お問い合わせください。

当法人ホームページにお問い合わせ先一覧を掲載しています。[HOME>ドナー登録されている方へ>骨髄・末梢血幹細胞の提供までのながれ>提供ドナー助成制度を導入している地方自治体・民間団体]

■新たに導入した自治体：多度津町（香川県）

3 11 年目を迎えた読売巨人軍の骨髄バンク支援

読売巨人軍は、広く社会貢献活動「G hands」を行っており、その一環として 2006 年から試合会場やキャンプ地での登録会をはじめ、さまざまな形で骨髄バンクの支援活動を行っています。

11 月 23 日（祝）に読売巨人軍のファン感謝イベント「ジャイアンツ・ファンフェスタ 2017」が東京ドームで開催されました。日本骨髄バンクへ寄付金の贈呈が行われ、石井一夫球団社長から当法人の加藤俊一理事に寄付金の目録が贈呈されました。多くのファンで賑わう東京ドームのオーロラビジョンで、その模様が紹介されました。

12 月 11 日（月）に菅野智之（すがのともゆき）選手、宮國椋丞（みやぐくにりょうすけ）選手が東海大学医学部付属病院（神奈川県）を訪問し、院内学級のクリスマス会に参加しました。子どもたちの合唱とハンドベル演奏から始まり、選手と子どもたちのプレゼント交換など、病気と闘う子どもたちと選手たちの楽しいふれあいの場となりました。

読売巨人軍とご協力いただいた関係者の皆さまに感謝申し上げます。



4 支援をつなぐ骨髄バンクチャリティーゴルフ

■ぐるなび骨髄バンクチャリティーゴルフ大会

11 月 27 日（月）に「ぐるなび・骨髄バンクチャリティーゴルフ大会」が戸塚カントリー倶楽部（神奈川県）で開催され、女子プロゴルファー30 名、ぐるなび提携レストラン等の関係者 71 名が参加しました。このゴルフ大会は今年で 12 回目を数えます。プレー後の表彰式で骨髄バンクへの寄付金贈呈式が行われました。株式会社ぐるなびや協賛社からの寄付金のほか、女子プロの賞金の一部、オークションの収益金等が滝久雄大会会長から当法人の小寺良尚副理事長に贈呈されました。

滝久雄会長から「ドナー登録者は約 48 万人いるが、多くのドナーの方の協力が必要である。これからもぐるなび・骨髄バンクチャリティーゴルフ大会を続けていきたい」とメッセージをいただきました。ご参加・ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

ぐるなびゴルフ大会の様子は以下の予定でテレビ放送されます。

（スカパー、au ひかり、ケーブルテレビ等のゴルフネットワークチャンネルでご覧いただけます）

【放送日時】12月23日（土祝）18時～18時30分、12月27日（水）12時～12時30分、12月31日（日）22時～22時30分
1月1日（月祝）15時～15時30分、1月7日（日）9時～9時30分

■中溝裕子骨髄バンクチャリティーゴルフコンペ

12 月 1 日（金）にベルセルバカントリークラブ市原コース（千葉県）で、中溝裕子骨髄バンクチャリティーゴルフコンペが開催されました。中溝さんは 20 年前に妹さんから骨髄移植を受け、元気になりました。このコンペは「中溝さんの移植日＝第 2 の誕生日」にちなんで、2006 年から毎年開催され、今年で 11 回目を数えます。今回の参加者は一般 118 名、女子プロゴルファー20 名で、各組に女子プロが同行し、9 ホールのラウンドレッスンが行われました。

表彰式のご挨拶で中溝さんに骨髄バンクのPRを行っていただき、後日このコンペで集まった募金をご寄付いただきました。参加者および女子プロゴルファーの皆さま、また当日の準備から運営までご尽力いただきました事務局の皆さまに感謝申し上げます。

5 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設認定

下記の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設として認定されました。

◇ 独立行政法人国立病院機構九州医療センター

これにより末梢血幹細胞採取認定施設数は103施設となりました。新規認定施設は、当法人ホームページでもご覧いただけます。

[HOME>患者さんへ>移植認定病院、およびドナー登録されている方へ>面談施設一覧]

6 当法人の会議等開催予定

会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	12月18日（月）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	1月19日（金）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

7**期間短縮に向けた移植最適時期での採取をめざす取組み****～「ドナー選定通知書」の変更について～ <移植施設の医師の方へ>**

非血縁者間造血幹細胞移植を必要とする患者さんにとって、移植を実施するタイミングはたいへん重要です。骨髄バンクでは、コーディネーター期間短縮に向けた患者さんの最適な移植時期に採取をめざす取組みをドナー側、患者側それぞれでより一層推進することとしました（マンスリーJMDP11月号参照）。

その一環として「ドナー選定通知書」を変更します。詳細は別紙をご確認のうえご対応お願いします。なお、当法人ホームページでもご覧いただけます。

[HOME>医師の方へ>患者主治医の方へ>医師宛通知文]

■変更日：12月15日（金）の確認検査結果報告から

■主な変更点

- (1) ドナー選定時に、移植希望時期はこれまで3週提示を求めていましたが、今後は第1希望（最適）週、第2希望（予備）週の2週とし、より絞った時期での調整を試みます。
- (2) 「移植時期が限られる」「ある程度、移植時期の幅がある」といった個々の患者の状況を伺い、できる限りそれに合わせた調整をめざします。

8**ドナー適格性判定基準の変更**

「ドナー適格性判定基準」の以下の項目を変更しました。詳細は別紙をご参照ください。

【代謝・栄養疾患】 脂質異常症

9**骨髄採取マニュアルの変更**

採取担当医師の見地から「骨髄採取マニュアル」の以下の項目を一部変更しました。詳細は別紙をご確認ください。

【(10)採取手技】

10**【安全情報】骨髄採取後に尿道損傷を認め、退院後再出血した事例（膀胱留置カテーテルによる尿道損傷）**

本年7月骨髄採取後に尿道損傷を認め、退院後再出血した事例が報告され、緊急安全情報を発出した案件の続報です。ドナー安全委員会で審議した結果、再発防止に向けて対応することになりました。詳細は別紙をご確認ください。



11

【安全情報】他患者投与製剤(G-CSF バイオシミラー)を骨髄バンクドナーに誤投与した事例

骨髄バンクドナーに対して、誤って他患者投与予定製剤(G-CSF バイオシミラー)を投与した事例が報告されました。ドナー安全委員会で審議した結果、再発防止に向けて対応することになりました。詳細は別紙をご確認ください。

12

平成 30 年度調整医師再委嘱手続きについて <調整医師の方へ>

調整医師委嘱手続きについては、平成 28 年度から委嘱期間を 1 年とし、原則として自動更新となりましたが、一部の施設においては院内規定等により、平成 30 年度も委嘱更新手続きが必要となります。対象の調整医師の先生方へ、委嘱更新に関する書類を来年 1 月中旬以降にお送りしますので、施設長の承諾書をすみやかにご返送くださいますようお願いいたします。

また、新たに調整医師として協力可能な先生をご紹介いただける場合は、ドナーコーディネータ部までご一報ください。申請書等は当法人ホームページからダウンロードもできます。

[HOME>医師の方へ>調整医師・採取医師の方へ>調整医師の募集に関して]

13

コーディネーター養成研修会について

本年 8 月から一部地域でコーディネーター養成研修会の受講者を募集しました。来年 3 月まで各地区で研修カリキュラムを実施します。研修生の見学・実地研修の際には、調整医師・採取施設の先生方およびコーディネーターの皆さまにご指導いただくこととなりますので、よろしくお願い致します。

14

連絡事項 <コーディネーターの方へ>

■インフルエンザ流行拡大に関する対応について

本年もドナーコーディネータ部にインフルエンザ相談窓口を設置しました。別紙「インフルエンザ流行拡大に関する対応について」を確認のうえご対応をお願いします。

■年末年始の確認検査・再検査実施と SRL 予約について【再掲】

ドナーがすでに HLA(DNA)の情報を持っているか否かにより対応が異なります。どちらに該当するかは地区事務局から申し送りますので、それに従って日程調整をお願いします。

年末	① 確認検査（検査項目：一般血液検査と HLA ビーズ法）⇒12 月 26 日（火）採血分まで ② 確認検査（検査項目：一般血液検査のみ）・再検査 ⇒12 月 28 日（木）採血分まで
年始	確認検査、再検査 ⇒ 1 月 5 日（金）採血分から
SRL 予約	1 月 5 日～9 日に採血希望の場合は、12 月 26 日（火）14：00 まで